

環境マネジメントシステム導入報告書

(宛 先) 京 都 府 知 事		令和元年 7月 24日
住所（法人にあっては、主たる事務所の所在地） 大阪市北区中之島3丁目6番16号		氏名（法人にあっては、名称及び代表者の氏名） 関西電力株式会社 取締役社長 岩根 茂樹
環境マネジメントシステムの名称	「独自のシステム」	
適用範囲	全社	
導入年月日	平成10年 4月 27日	
認証番号	-	
基本方針	関西電力グループでは、「関西電力グループCSR行動憲章」に基づき、環境との関わりが深いエネルギー事業者として、社会から信頼される企業グループであるために、「低炭素社会の実現に向けた挑戦、循環型社会の実現に向けた活動の展開、地域環境保全対策の推進に取り組むとともに、環境管理および環境コミュニケーションの推進に努めます。	
環境に配慮した事業活動を自主的に進めていくための目標（以下「目標」という。）	地球温暖化対策に大きく影響する「低炭素社会の実現に向けた挑戦」については、以下の目標を策定し、さまざまな取り組みを実践しています。 ○安全を最優先とした原子力発電所の運転 ○火力発電所の熱効率の維持・向上と天然ガスのさらなる利用 ○再生可能エネルギーの開発・普及 ○お客さまと社会の省エネ・省コスト・省CO ₂ への貢献	
目標を達成するための取組の内容	○安全を最優先とした原子力発電所の運転 運転を再開したプラントの安全・安定運転の継続と、安全性が確認されたプラントの速やかな稼働に向けて、安全対策を自主的かつ継続的に推進していきます。 ○火力発電所の熱効率の維持・向上と天然ガスのさらなる利用 熱効率の維持・向上を図ることによって、化石燃料の使用量を削減し、CO ₂ 排出量の抑制に努めています。 ○再生可能エネルギーの開発・普及 関西電力グループ一体となって、国内の再生可能エネルギー2030年50万kW導入の目標に向けた取り組みを加速し、今後も、多様な再生可能エネルギーの電源開発を日本全国および海外も含めた、広い視野で取り組みを進めます。 ○お客さまと社会の省エネ・省コスト・省CO ₂ への貢献 ヒートポンプ技術を活用した高効率システムとその運用方法などの提案に加え、エネルギーを見える化するサービスの提供など、お役に立てる取り組みを推進しています。	
目標を達成するための取組の進捗状況	○安全を最優先とした原子力発電所の運転 安全・安定運転を継続中。また、後続プラントについては、再稼働に向けて、引き続き安全最優先で取り組んだ。 ○火力発電所の熱効率の維持・向上と天然ガスのさらなる利用 熱効率の維持・向上を図ることによって、化石燃料の使用量を削減し、CO ₂ 排出量の抑制に努めた。 （参考）火力総合熱効率 49.5%（低位発熱量基準） ○再生可能エネルギーの開発・普及 関西電力グループ一体となって、再生可能エネルギーの電源開発に取り組んだ。 （参考）2019年度末 約11万kW開発 ○お客さまと社会の省エネ・省コスト・省CO ₂ への貢献 お客さま・社会のエネルギー利用高度化に資する機器、サービスの普及拡大に取り組んだ。 （参考）スマートメーター導入 100万台（累計1032万台）（2018年度末）	
目標を達成するための取組の成果及び当該成果に対する評価	持続可能な社会の構築に向け、火力発電所の熱効率維持・向上や再生可能エネルギーの開発など、環境行動方針に沿った取り組みを進めることができた。	
事業活動に係る法令の遵守の状況	国、自治体などから指導、勧告、命令を受けた事例はなし。	
環境マネジメントシステムの評価及び見直しの内容	環境問題への先進的な取り組みを部門横断するため、「CSR推進会議」の下部組織として「環境部会」を設置している。「環境部会」を開催し、行動計画「エコ・アクション」の策定やチェック・アンド・レビューを実施した。	

注 認証番号の欄は、導入した環境マネジメントシステムについて第三者の認証を受けている場合のみ記入してください。